

諏訪湖周クリーンセンター建設

eco ポップ通信

■諏訪湖周クリーンセンター第2回工事現場見学会を開催します

解体工事や造成工事の現場状況説明や見学に加え、工場で使用されている建設機械の試乗などを予定した第2回工事現場見学会を開催します。園児や小学生のみなさんもふるってご参加ください。

日時: 6月14日(土)午前10時～(1時間30分程度)

会場: やまびこ公園横の諏訪湖周クリーンセンター敷地(旧やまびこ公園臨時駐車場)

内容: 1. 工事現場状況の説明 及び見学

2. 建設機械の試乗及び撮影会(当日プリントして配布します)

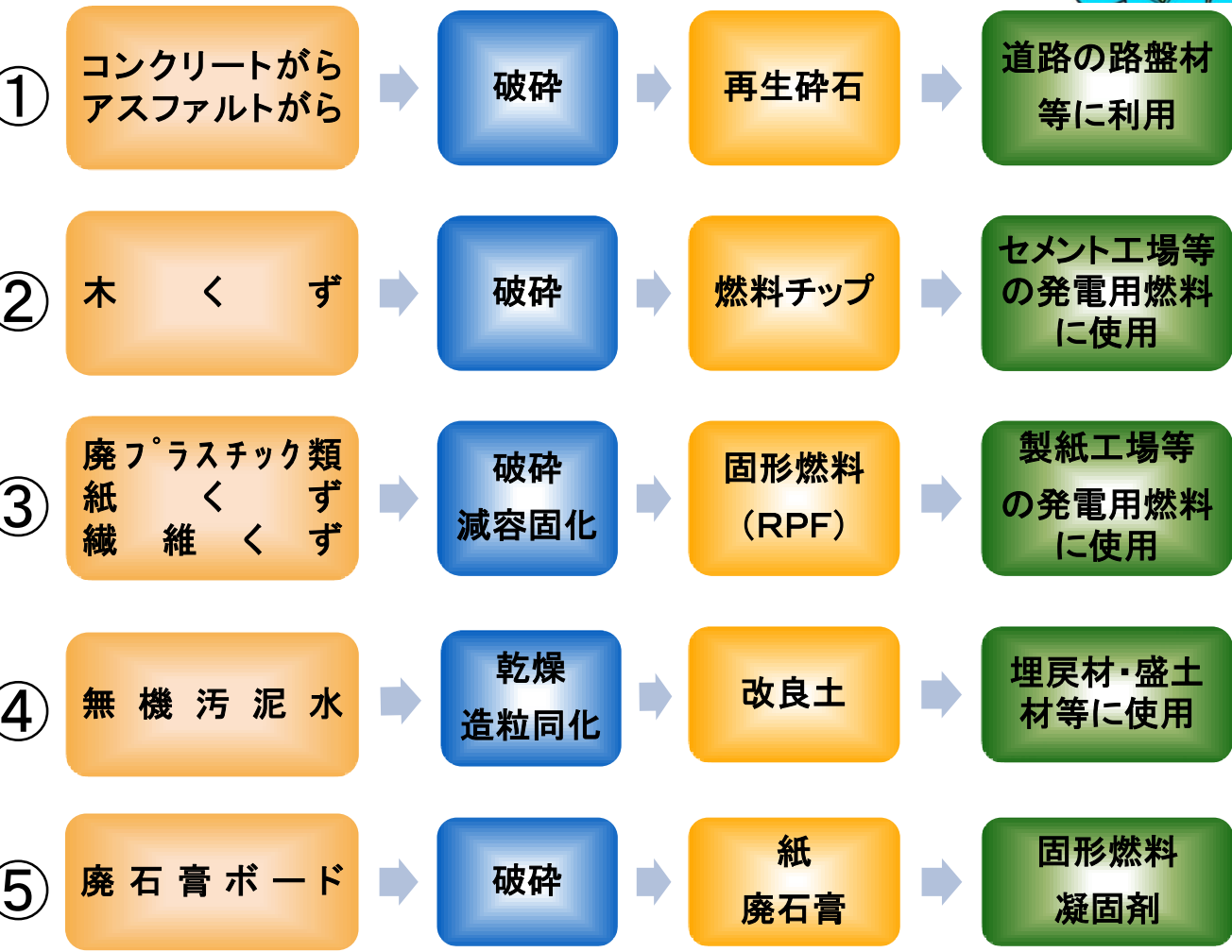
※当日は、工事現場内での見学になりますので、汚れても良い服装でご参加ください。

参加料無料、申込不要。当日、直接会場へ。なお、小雨程度であれば、予定通り開催しますが、状況次第で中止となることもあります。

産業廃棄物の紹介

今回は、岡谷市清掃工場解体工事から発生した産業廃棄物がどのように処理され、再利用されているかを紹介いたします。

最近では、産業廃棄物も再利用されるようになっていきました。



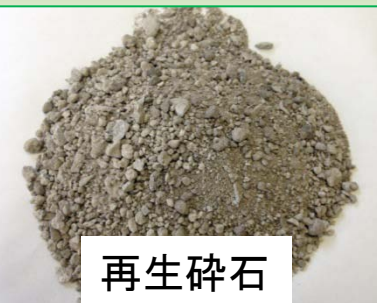
①コンクリートがらやアスファルトがらは、リサイクル施設へ持込まれ、破碎し、粒度調整をしてから、再生砕石として再利用されます。



破碎機



粒度調整状況



再生砕石

②木くずは、破碎機を使用し、チップにして、燃料として再利用されます。



木くず破碎機

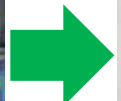


燃料チップ

③廃プラスチック類や紙くず等は、破碎・減容固化し、ボイラーで使用するRPFという固形燃料に再利用されます。



破碎・減容固化施設



固形燃料

④無機汚泥水は、石灰とセメントを混入攪拌して、改良土にして再利用されます。



乾燥施設



改良土

⑤石膏ボードは、紙と石膏できているため、紙と廃石膏に分類した後、下記の用途に再利用されます。

- ・紙 → ③の紙くずとして固形燃料(RPF)に再生されます。
- ・廃石膏 → ④の無機汚泥が改良土へ再生される際に使用される凝固剤(石灰の代替品)として使用されます。

■工事進捗状況

①岡谷市清掃工場解体工事

- 工場棟建屋解体及び基礎解体
工場棟の建屋解体工事が終了し、基礎の解体を行ないました。
- 煙突解体
煙突本体(外筒)の解体が終了しました。



建屋解体作業施工状況



煙突解体作業施工状況



②諏訪湖周クリーンセンター敷地造成工事

- 補強土壁工 敷地東側の補強土壁工事を行ないました。



補強土壁施工状況



③諏訪湖周クリーンセンター建設工事

- 建築確認申請にむけて、関係省庁等と事前協議を行ないました。

■今後の予定

●●●6月の工事予定●●●

①岡谷市清掃工場解体工事

- 工場棟の地下部、基礎杭及び車庫棟の解体

②諏訪湖周クリーンセンター敷地造成工事

- 敷地東側の補強土壁工事及び盛土工事

③諏訪湖周クリーンセンター建設工事

- 建築確認申請図書の提出及びボイラの工場製作



補強土壁
(イメージ)

■敷地全体状況

4月中旬時点



5月中旬時点



発行元 諏訪湖周クリーンセンター整備事業に関連する工事等連絡協議会
三井住友・興和工業特定建設工事共同企業体 連絡先:24-2110
株式会社岡谷組 連絡先:23-7285
タクマ・岡谷組特定建設工事共同企業体 連絡先:23-5671(岡谷組)
株式会社三水コンサルタント 連絡先:03-3980-4132
パンフィックコンサルタンツ 長野事務所 連絡先:026-228-8118
湖周行政事務組合 連絡先:23-4811(内線1443・1444)